

今週のビルマのニュース
2010年12月3日【1044号】

国連特使がビルマを訪問、選挙への懸念示す

・国連のナンビア特別顧問が11月27、28日にビルマを訪問し、ニャンウィン外相や選挙管理委員会委員のほか、民主化運動指導者アウンサンスーチー氏や選挙に参加した政党の代表などと会った。28日の記者会見で、「多くの政党が総選挙の実施方法や結果に強い懸念を表明した」とし、こうした問題の解決のために透明性を持って取り組むよう軍政や選管委に求めたことを明らかにした。(28日共同ほか)

軍政側は「選挙は自由で公正だった」と

・「国民の日」の1日、軍政トップ・タンシュエ上級大将は国民に向けた声明を発表。「新憲法に基づいて自由で公正な選挙が行われた」とし、民政移管に向けて前進していると述べた。(1日国営紙)

米誌「世界の思想家100人」にスーチー氏

・フォーリン・ポリシー誌12月号が2010年の「グローバルな思想家」100人を発表し、民主化運動指導者アウンサンスーチー氏も選ばれた。選出に際し、氏は自宅軟禁解除後に撮影した映像メッセージを寄せた。同誌のウェブサイトで視聴できる。

ビルマ東部で戦闘と難民流出続く

・タイ国境に近いビルマ東部では選挙後に始まった戦闘が今も散発的に続いている。11月26日夜からミャワディの近くでビルマ国軍と民主カイン仏教徒軍(DKBA)とが交戦し、住民約1,000人が一時的にタイ側に避難した。(11月29日DVBほか)

「ビルマ軍政は対人地雷を使う世界唯一の政府」

・地雷禁止国際キャンペーン(ICBL)の年次報告書「ランドマイン・モニター」(2010年版)が11月24日に発表された。これによれば09~10年に政府として対人地雷を使用したのは世界でビルマ軍政だけ。またビルマを含む6カ国で、政府軍以外の武装集団が対人地雷を使用した。さらにビルマ、インド、パキスタンの三カ国が対人地雷の製造を続けていると考えられるとする。

注目のアイテム

・アウンサンスーチー氏のビデオメッセージ
(フォーリン・ポリシー誌、11月30日発表)
<http://www.foreignpolicy.com/>

・「ミャンマー総選挙とその後(3)結果速報」
(アジア経済研究所ウェブサイト)
<http://www.ide.go.jp/Japanese>

ビルマへの政府開発援助(ODA) 約束状況など
新たな発表はなし

イベント情報

・映画と講演のタベ「ビルマカフェ」大阪 ドキュメンタリー「ピュア ビルマ難民キャンプの子どもたち」上映、講演：ココラットさん(ビルマ難民)、ダバンサイヘインさん(関西学院大学難民学生・NHKドラマ出演)、マウンマウンさん(ビルマ難民)主催：ビルマカフェ実行委員会(大阪市中央公会堂大会議室、5日18時半~)

・チャリティ・ライブ Rock for a Free Burma! 主催：Amnesty International Tokyo English Network(恵比寿What the Dickens、5日18時開場・19時半開演)

・世界人権デー集会 主催：在日ビルマ人民民主化活動家のみなさん他(国連大学前、10日15時~)

・ヒューマンライツ・ナウ世界人権デーイベント「軍事政権下のビルマの人権状況~圧制下で生きるということ、圧政を逃れて生きるということ」講演：「軍事政権下のビルマの人権状況」中尾恵子氏(日本ビルマ救援センター代表)報告：石田真美氏(ヒューマンライツ・ナウ・ビルマプロジェクト)(エル・おおさか5階研修室2、11日18時半~)

・ビルマ難民ココラットさんのお話・ドキュメンタリー「ピュア ビルマ難民キャンプの子どもたち」上映・手紙書き アムネスティ札幌28グループ主催(札幌エルプラザ、11日18時半~)

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

Twitter公式アカウントはBurmaInfoJapan

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀 yuki@burmainfo.org 080-2006-0165
--